



小雀公園 里山通信



Vol.7 野鳥のかくれ場所



夏は木の葉や草が生い茂っている小雀公園ですが、冬になり落葉樹の葉が散り、ヨシ刈りが終わると、すっかり見通しの良い広々とした公園になります。鳥好きの方ならば、野鳥観察のベストシーズンといったところでしょうか。

ところで草刈が終わった後、全部刈らずに残っている枯草があることに気づくと思います。これは刈り忘れたのではなく、わざと残しているのです。鳥が見えやすいということは、鳥にとっては隠れ場所が少なく、常に危険にさらされていることになります。開けた場所にいると猛禽類に捕食されることもありますし、特に危害を与えるつもりはない私たち人間も、鳥にとってはあまり近づいてほしくない存在のはずです。

小雀公園には野山の鳥や水辺の鳥など、様々な種類の鳥が訪れ、その鳥たちを楽しみに公園を訪れる人たちもいます。鳥が見やすいようにすべてを開放的にしてしまうと、危険な場所と認知され、開けた場所を好む鳥以外は来なくなってしまう可能性もあります。そうするとつまらない公園になってしまいますよね。

現在ヨシ原にはまとまった刈り残しが1か所あります。猛禽類に追われた小鳥が、この刈り残し箇所へ逃げ込んで難を逃れたところを目撃したことがあるとの情報をいただきました。きちんと機能してくれたようでうれしいです！また、まばらに残っているヨシは、カワセミの止まり場として利用されています。



ため池の護岸に残っている枯草も、水鳥たちの隠れ場となっています。今日は鳥がい



ないなと思っていても、しばらくすると隠れていたカモなどがスススと出てくることがあります。しばしば草がじゃまで鳥が見えないから刈ってくれと言われることもありますが、全部刈ってしまったら鳥がいなくなってしまうです。じっくり時間をかけて静かに待ち、鳥が安心して草陰から出てくるのを待って観察してくださいね。



小雀公園 ☎045-853-1945
<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>
横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

